

# しまおか 市議会だより

Shizuoka City Council News

[https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_000260.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html)

令和3年2月定例会号[No.77] 発行日/令和3年(2021年)5月1日

静岡市のココが聞きたい

## 代表質問

2月定例会で4会派が代表質問を行いました。代表質問は4人以上の所属議員を有する会派が行うことができます。ホームページで録画映像をご覧ください。



### 自由民主党 静岡市議会議員団

#### JR清水駅周辺の まちづくりの方向性

Q 桜ヶ丘病院や遊休地所有者のEN E O Sとの協議を踏まえ、状況が大きく変化したJR清水駅周辺のまちづくりを今後どのような方向へ進めていくのか。

A 本市は、世界中から人が集まる活力ある国際海洋文化都市清水の実現を目指している。清水駅周辺地区では、①行政、医療、商業など都市機能の集積・発展、②観光機能の向上、③地震や津波から街を守る防災機能の充実、を3本柱として進めてきた。これらの機能を更に充実させていくため、



池谷 大輔 議員

桜ヶ丘病院の清水駅東口公園への移転、駿河湾フェリー発着場移転や防潮堤整備の促進、海洋文化施設整備の早期再開に向けた検討などに尽力していく。

令和2年7月に静岡県とEN E O Sが、次世代型エネルギー供給プラットフォームの構築と魅力的かつ持続可能な地域づくりを進めていくと公表した同社の清水駅東口エリアの遊休地は、清水の新たな成長の原動力となることを期待するとともに、その動きを踏まえ、地区のガイドプランを描いていきたい。

### 志政会

#### 中小企業の声を支援事業に

Q 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい経営環境にある地域企業、とりわけ中小企業・小規模企業の経営存続・持続的発展を支援する必要がある。支援にあたり、市内産業の動向を見極め、市として産業振興の方向性を示す必要があるが、それには企業から意見を聞き、それを具現化した支援につなげることが有効な施策の一つであると考え。そこで、産業活性化懇話会(※1)や中小企業・小規模企業応援会議(※2)など、市内企業からの意見をどのような事業に反映しているのか。



池邨 善満 議員

A 2年度はこれらの会議から、①BCP(業務継続計画)の作成と実践、②生活様式の変容に対応した新ビジネスの創出、③デジタル化への対応、④企業同士の連携による課題解決、について意見があり、令和2年9月補正予算でBCP策定や感染拡大防止のための設備導入助成制度を創設した。3年度は市内企業と首都圏企業、学生が相互につながる場の設置や中小企業へのDX(※3)推進に向けた伴走支援などを行う。今後とも市内企業からの意見を支援につなげていく。

### 公明党静岡市議会

#### 会派提言を踏まえた 3年度の市政運営

Q 新しい社会構造に順応したまちづくりにより、誰も置き去りにしない社会、希望を持って暮らすことができる持続可能な社会の構築を目指して、会派が令和2年11月に市長に提言した「都市デザイン2021-2024」を踏まえて3年度の市政運営の基本的な考え方は。

A S D G sを強く意識したこの提言のキーワードである「信頼」「安心」「希望」「ひと」は、市が第3次総合計画で目指している「世界に輝く静岡」の実現に向けて欠くこ



井上 智仁 議員

とができないものであり、コロナ禍においてもより一層必要な要素であると受け止めている。その中で、3年度予算では「Life(いのち)を守り、Life(くらし)を取り戻す」というスローガンを掲げ、①市民の安全・安心の確保、②地域経済の活性化とにぎわいの創出・分散化社会(※4)への対応、③ICTなどを活用した社会の効率化に資するための各種事業に取り組み、コロナ禍にあるからこそ誰も置き去りにしない社会を目指していく。

### 創生静岡

#### 緊急事態における市長の リーダーシップ

Q 現在、新型コロナウイルスという危機に立ち向かっている最中であり、危機管理の観点から市長のリーダーシップが必要であると考え。このような緊急事態における市長の果たすべき役割をどう認識しているのか。

A 緊急事態におけるリーダーの役割について、二つの心構えが必要だと考える。

一つ目は迅速かつ果敢な判断をすること。リーダーが一つ一つの判断を下し、それが組織全体にスピード感を持って伝えられ、実行に移されなければならない。その



石井 孝治 議員

ために、3年度から危機管理総室と市長公室を市長直轄の組織とし、それをまとめ、全庁的な局間調整を担う連携調整監を新たに配置する。

二つ目は冷静かつ沈着な判断をすること。目前にある危機に対応するとともに、その危機が終わった後々のことも考えた判断をしなければならぬと考える。現在のコロナ禍においては、この二つの心構えを基に間違いないように判断をしながら感染拡大防止策と社会経済対策を進めていく。

### 語句説明

- (※1)産業活性化懇話会 本市の産業・経済の将来像と産業振興の基本的な方向性を示した産業振興プランの推進について外部有識者や企業関係者に意見を求める場。
- (※2)中小企業・小規模企業応援会議 静岡市中小企業・小規模企業振興条例に基づき設置した、中小企業経営者等が主体となって運営する会議。市に対して、意見や提案を行う。
- (※3)DX デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)。データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革するとともに、企業風土を変革し競争上の優位性を確立すること。
- (※4)分散化社会 国内で人口や経済が地方にバランスよく分散している社会のこと。

### 目次

代表質問	1面
個人質問、2月定例会のあらまし、日程	2面
個人質問、主な議案、議会活動報告	3面
委員長報告(常任委員会・特別委員会)	4面
会派別賛否一覧	5面



静岡市のココが聞きたい

個人質問

令和3年2月25日、6人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。



HPで録画映像をご覧いただけます。ご覧になりたい議員名から選択することもできます。  
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\_000269.html



3年度国民健康保険料の据え置き

質問者 寺尾 昭 (共産党)

国民健康保険運営協議会が示した3年度の国民健康保険料を据え置きとした諮問は、コロナ禍で苦しむ国民健康保険の加入者が歓迎するものと考えますが、そう諮問した理由は、

【答弁】 次期静岡県国民健康保険運営方針の中で、県内市町の保険料水準の統一の目標時期を9年度としているが、本市の推計によると、現行の保険料率では大幅な保険料不足が想定され、保険料水準統一までに段階的に率を引き上げ、その不足を解消する必要がある。

しかしながら、基金及び繰越金を計画的に充てることで3年度に限って保険料率を据え置きすることが可能と判断したため、収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の経済への多大な影響を踏まえ、市民に寄り添う観点から、据え置きが妥当と諮問した。

語句説明

国民健康保険運営協議会

国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するため、国民健康保険法及び施行令に基づき設置される附属機関。医師会、薬剤師会、自治会等関係機関の代表者のほか公募市民、被用者保険代表者、市議会議員で構成される。

静岡県国民健康保険運営方針

県が市町とともに国民健康保険の安定的な財政運営並びに国保事業の広域化及び効率化の推進を図るため、県が国民健康保険法第82条の2の規定に基づき策定する国保事業の運営に関する方針。

運営方針の対象期間は、令和3年4月から令和6年3月。

語句説明

重度心身障害者医療費助成制度

下記の対象者に医療保険の医療費及びその薬代等を助成する制度。(静岡市における対象者)  
・身体障害者手帳1級、2級  
・または内部障害3級の方  
・療育手帳Aの方  
・特別児童扶養手当1級受給資格者  
・精神障害者保健福祉手帳1級の方  
ほか

償還払いと現物給付

償還払い…医療機関の窓口で一旦医療費の自己負担分全額を支払い、後日、助成制度の一律の負担額を差し引いた額を助成金として給付を受ける方法。

現物給付…窓口で助成制度の一律の負担額のみを支払い、医療行為のサービスを受ける方法。

静岡市の重度心身障害者医療費助成制度では償還払いの方法により、概ね3か月後に助成金の振込みを行っている。

国民健康保険団体連合会

国民健康保険法第83条の規定に基づき、会員である都道府県及び市町村並びに国保組合が共同してその目的を達成するため必要な事業を行うことを目的とした組織。

下記の事業及び事務を行う。  
・保険者の事務の共同処理  
・診療報酬の審査及び支払  
・療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令に定める公費負担医療に関する費用の審査及び支払に関する事務  
ほか

重度心身障害者医療費助成制度の窓口負担

質問者 杉本 護 (共産党)

静岡市の重度心身障害者医療費の助成方法は償還払いである。県内では浜松市以外が本市と同様に償還払いであるが、政令指定都市では本市と仙台市以外は現物給付方式となっており、本市の支援は遅れていると言える。本市も直ちに現物給付にすべきと考えるがその課題は、

【答弁】 障がいのある方々にとって、一時的でも医療費を全額支払うことが負担となることを認識している。

一方、本市と本市以外の医療機関で償還払いと現物給付が混在し複雑にならないよう、県内すべての市町が一斉に現物給付化を実施することが課題となる。また、医療機関や県内市町が支払関連事務を委託する静岡県国民健康保険団体連合会等の協力を得ることも必要不可欠であるため、静岡県、県内市町及び連合会等と十分協議し、課題解決に向け検討していく。

会派

※2面以降会派名は略称で表示しています。

- 自民党  
=自由民主党静岡市議会議員団 (24人)
- 志政会(7人)
- 公明党=公明党静岡市議会(6人)
- 創生静岡(4人)
- 共産党  
=日本共産党静岡市議会議員団 (3人)
- 緑の党  
=緑の党グリーンズジャパン (1人)

※令和3年3月11日時点

オクシズのワサビで地域活性化を

質問者 安竹 信男 (創生静岡)

オクシズの地域資源を活用して観光客を呼び込むことが地域活性化のために重要であると考えます。本市のお茶ツーリズムのようにワサビの活用も図りたいが、ワサビのツーリズムの取組状況は、

【答弁】 ワサビのツーリズムについては、ワサビやオクシズ地域の振興を目的として、平成30年4月に生産者団体、JA、市、県などから組織された「オクシズわさび応援団」がその実施を検討している。これまでに、ワサビのツーリズムの商品化に向けてモニターツアーなどを実施し、参加者からは好評を得る一方、観光客を受け入れる組織の構築やツアーの採算性などの課題が確認された。今後も世界農業遺産である「静岡水わさびの伝統栽培」の活用を図ることで、オクシズ地域の活性化につなげていく。

語句説明

お茶ツーリズム

お茶農家や茶商が取り組むお茶づくりの現場を訪れ、本場のお茶や人との交流を楽しむ体験型の小旅行。

世界農業遺産

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域(農林水産業システム)を、国際連合食糧農業機関(FAO)が認定する制度。「静岡水わさびの伝統栽培」は平成30年3月に認定された。

知事への緊急事態宣言発出要請の要望

質問者 松谷 清 (緑の党)

令和3年1月、県内で新型コロナウイルス変異株への感染者が確認されたことを受け、県市長会は知事に対して、国に緊急事態宣言発出を要請するよう要望した。今後市内で感染が拡大した場合に、市長から知事に対して同様の要望を行う考えはあるか。

【答弁】 本市は通勤、通学、買物等で周辺市町との交流が活発であることから、要望を行う際には、本市の状況だけでなく、周辺市町の感染状況や社会経済活動の状況なども考慮する必要がある。そのため、本市及び周辺市町における国の分科会が示した感染状況の六つの指標や感染拡大の要因などを検証し、周辺市町と調整した上で、知事による外出自粛などの要請・指示が感染拡大の抑制のために必要と判断した場合には、知事に対して、必要な要望を行っていく。

語句説明

感染状況の六つの指標

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が定めた感染状況の4段階(ステージ1~4)の判断基準となる次の指標。

- ①-1病床使用率(全病床の使用率)、①-2病床使用率(重症者用病床の使用率)、②10万人あたりの療養者数、③PCR検査陽性率、④10万人あたりの新規報告数、⑤直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑥感染経路不明割合

2月定例会日程

開催日	委員会	議題
2月16日	本会議(開会)	会期決定、人事案件 議案上程~表決、 議案第90号上程、 質疑、委員会付託
	観光文化経済委員会	議案第90号審査
	本会議	議案第90号委員長報告、 討論、表決、議案上程、 説明、施政方針
2月22, 24, 25日	本会議 (代表質問、個人質問)	市政全般について 質問、委員会付託
3月2, 3, 4, 5日	常任委員会	議案等審査
3月11日	本会議(閉会)	議案上程、 常任委員長報告、 特別委員長報告 討論、表決

2月定例会のあらまし

令和2年度補正予算・

令和3年度当初予算を可決

令和3年2月16日から3月11日までの24日間にわたって、2月定例会を開催しました。

定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種事業に要する経費のほか、国土強靱化策として、道路整備事業等に要する経費などの増額を計上した2年度補正予算や、ポストコロナ時代に合わせた持続可能な都市経営・行財政運営の実現を目指す3年度当初予算などの議案116件、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。

2月16日には田辺市長が施政方針を表明しました。「Lifeいのちを大切に、Life(くらし)も大切に」をスローガンに、新型コロナウイルス感染症対策などの緊急性の高い事業が年度の切れ目なく予算執行できるよう、また、事業の選択と集中に努め、第3次総合計画に掲げる諸施策を堅実に進めていくため、2年度2月補正予算と3年度当初予算を一体で編成する考えを示しました。

施政方針を受けての代表質問と個人質問では、市長の政治姿勢、3年度予算編成、新型コロナウイルス感染症対策のほか、清水駅周辺のまちづくりなどが議論されました。(1~3面掲載)。

3月11日の本会議最終日には3月2日~5日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され(4面掲載)、表決の結果、すべての議案を全会一致または賛成多数で可決しました(5面掲載)。



### 「桜ヶ丘病院移転協定書締結と 地方自治法との関係」

質問者 風間 重樹（創生静岡）

令和2年12月に市とJCHOとの間で結ばれた基本協定書の位置づけは、また、協定書第2条に「JCHOは、市が所有する清水駅東口公園の一部に桜ヶ丘病院を移転することあるが、議決なく協定書を締結したことや、議決を受けるべき市有財産の処分にかかる項目があることは地方自治法第96条に抵触しないか。」

【答弁】 本協定書は、市とJCHOとの間で病院の移転に関する基本的事項を定めたものであり、あくまで今後の交渉の基本的方向性を示したものである。

同法に規定された議会の議決すべき事項に本協定書の締結は該当しない。また、本協定書の中に財産処分に関する項目があることについても、本協定書の締結をもって具体的に土地に関する権利移転が生じるものではないことから同法に抵触するものではないと考える。

### 語句説明

(抜粋)地方自治法第96条第1項 普通地方公共団体の議会は、次に掲げる事件を議決しなければならない。  
第6号 条例で定める場合を除くほか、財産を交換し、出資の目的とし、若しくは支払手段として使用し、又は適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けること。

### 「桜ヶ丘病院移転協定書締結と 市民参画条例との関係」

質問者 内田 隆典（共産党）

本市とJCHOが令和2年12月に桜ヶ丘病院移転に関する基本協定書を締結したが、これは重要な行為であり、市民参画条例に基づくパブリックコメント等を通じ、市民の意見を反映した上で実施すべきだったのではないかと、また、基本協定書の締結について議会への説明が十分でないかと考えるが、どうか。

【答弁】 本協定書は、本市とJCHOとの間で、桜ヶ丘病院の移転に関する基本的事項を定めたものであり、あくまで今後の交渉の基本的方向性を示したものであることから、静岡市市民参画の推進に関する条例に基づく市民参画手続は必要ないものとする。また、この協定を踏まえ、現在JCHOと新病院の建設に向けた具体的な協議を進めており、今後議決が必要なものについては、議会に諮っていく。

### 語句説明

静岡市市民参画の推進に関する条例(市民参画条例) 本市のまちづくりにおける憲法となる静岡市自治基本条例の理念を、市政運営において具現化していく上で重要となる市民参画について定めた条例。この条例では、自治基本条例第10条第1項に規定する市民の市政への参画権を制度的に保障するため、統一的な基準を設け、市民参画手続の方法を定めている。具体的な方法については、規則で①パブリックコメント手続の実施②意見交換会の開催③市民ワークショップの開催④審議会等への付議の四つの方法を規定している。

## 主な議案

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

「新たな日常」への対応、国土強靱化(防災・減災、社会基盤整備)などの取組について、国の「15か月予算」の考え方と連動し、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体で編成しました。

### 令和2年度静岡市補正予算(第9号第10号)

予算計上額	
一般会計	約38億1千万円増
特別会計	約117億9千万円減
企業会計	約4億6千万円減
全会計	約84億4千万円減

### 市内の飲食業界を支援

【エール静岡】 飲食店等へ事業継続のための支援金として1事業所あたり10万円を支給するもの



### 新型コロナウイルスワクチン接種事業

市民への新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制を整備し、ワクチン接種を実施するもの

### 病院事業助成

市立及び公的病院における新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の確保に対する支援をするもの

### ICT教育環境整備事業

児童生徒一人1台のパソコン配備に向けた環境整備を実施するもの

### 同報無線デジタル化整備事業

同報無線を現在のアナログ方式からデジタル方式に更新するための基本設計を実施するもの

### 道路新設改良事業

清水富士宮線などの国県道及び市道における道路新設改良事業を実施するもの

### 児童館との複合施設

飯田生涯学習交流館の建て替えに伴い、施設的位置を変更するため、条例の改正をするもの

### 予算以外の議案

### 令和3年度静岡市当初予算

予算規模	
一般会計	3,297億円 (対前年度44億円増)
全会計	6,551億円 (対前年度128億円増)

過去最大の予算規模

### 当初予算編成のポイント

- ポストコロナを見据え「新たな日常」に対応した社会の実現に向けた取組に予算を重点配分
- 激甚化・頻発化する災害への対応として、国土強靱化を強力に推進する取組を予算に反映
- 本市の最重要課題である第3次総合計画の「5大構想」を着実に推進する取組を予算に反映

### スクールサポートスタッフ配置事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、教育課程の見直しや消毒作業など、業務が増加している教員を支援することにより、子どもへの指導に集中できる環境を整えるためのスクールサポートスタッフを配置するもの

### しずく空間活用社会実験事業

JR静岡駅に直結する北口地下空間「しずくチカ」を、静岡市らしさや本市の魅力を感じてもらえる空間にしていこうための社会実験を実施するもの

### 防災倉庫等設置費助成

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対して防災資機材の購入費等の助成を実施するもの

### 浸水対策推進プラン事業

浸水対策推進プランに基づく河川改修事業を実施するもの

### 5大構想

海洋文化の拠点づくり	6.3億円
歴史文化の拠点づくり	44.2億円
教育文化の拠点づくり	2.0億円
「健康長寿のまち」の推進	15.0億円
「まちは劇場」の推進	7.2億円
<b>74.7億円</b>	

### 国土強靱化

浸水対策推進プラン事業	など
防災倉庫等設置費助成	など
同報無線デジタル化整備事業	など
道路新設改良事業	など
児童館との複合施設	など
<b>119億円</b>	

### 「新たな日常」への対応

新型コロナウイルスワクチン接種事業	など
病院事業助成	など
ICT教育環境整備事業	など
同報無線デジタル化整備事業	など
道路新設改良事業	など
児童館との複合施設	など
<b>37.9億円</b>	

146.5億円 補正+当初 76.0億円

※1については裏面「広報しずおか」4ページ、※2については同15ページに関連記事有り

## 令和2年度の議会活動報告を公開しました

『令和2年度 静岡市議会活動報告～静岡市議会基本条例に基づく取組～』は静岡市議会の2年度の活動をとりまとめたものです。本会議の議決状況や各種データなどの議会活動を掲載していますのでご覧ください。  
資料編には、元年度中の総括質問のうち、市議会だよりに掲載した主な質問について、事業担当部署のその後の対応状況を掲載しています。



### 対応状況の一例

議員質問(抜粋)	事業担当部署答弁(抜粋)	事業担当部署の対応状況(令和2年12月末時点)
【令和元年6月定例会】 医療用補整具の購入等のがん患者への支援をどのように進めていくのか。	がん治療による外見の変化や経済的負担は、がんを克服して社会復帰しようとしている方にとって大きな悩みとなっており、こうした悩みを軽減する取組が必要であることを把握している。 このうち、特にニーズが多かった医療用ウィッグなどの医療用補整具の購入支援については、静岡市がん対策推進協議会においてがん患者等関係団体をはじめとする各委員の意見を聞きながら、スピード感を持って対応していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年9月補正予算にて事業費を確保し、11月から「がん患者医療用補整具購入費助成」を開始</li> <li>令和2年4月から「若年がん患者等生殖機能温存治療費補助」と「若年がん患者等在宅療養生活支援補助」を開始</li> </ul>
【令和2年2月定例会】 清水消防署の日勤救急隊創設の目的は。	救急出動件数は、全国的に年々増加傾向にあり、本市では日中の時間帯に救急車の需要が多く、特に清水区内で待機する救急車が減少する状況にある。 この状況を改善するため、県内で初となる日中に特化した日勤救急隊を令和2年4月から清水消防署に設置し、運用を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日勤救急隊出動:609件(令和2年4月以降)</li> <li>令和元年と比較して清水消防署管内の現場到着時間が短縮</li> <li>令和2年の葵区、駿河区の救急隊の清水区内で発生した救急事案への出動:前年より減少 ⇒葵区、駿河区の救急体制が強化</li> </ul>

掲載ページ: [https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_006439\\_00008.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006439_00008.html)  
このほか、議会事務局、各区市政情報コーナーにて閲覧も可能です。





# 委員長報告

## 常任委員会

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

### 総務委員会

- \* 新清水庁舎あり方検討事業について、スケジューリング管理しながら現庁舎の課題等も含めて検討を進め、市民への分かりやすい説明を求めている意見の一方で、新庁舎のあり方を検討するとしながら、移転計画を変更しないのは問題であり反対するとの意見も述べられた。
- \* サッカースタジアム構想づくりに向けた検討では、他都市の効果的な事業手法を検討し、民間活力の導入なども含めて積極的な調査を求めた。
- \* 財政運営について、今後の財源不足に対応すべく、第3次静岡市行政改革推進大綱に基づく事務事業の見直しや民間活力の活用、コスト削減に力を入れて取組むこと。

### 観光文化経済委員会

- \* 地域型宿泊誘客事業支援助成は、これまでの施策の成果や課題を踏まえた取組であり評価する。GOTOトラベルなどの国や県の動向を注視し、効果的な施策となるよう取り組むこと。
- \* 歴史文化施設では、地域産業の紹介なども取り入れ、地域に密着した施設になることを期待する。
- \* モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業は、経済波及効果が幅広く見込まれるため、第2弾の実施を要望する。一方でモバイル決済に不安を持つ市民もいるため、不安解消につながる取組を求める。
- \* 海洋文化施設は、コロナ禍にあるからこそ大胆な見直しを行い、より質の高い施設になることを求める。

### 市民環境教育委員会

- \* 男女共同参画の推進について、まずは市役所内から意識を変え、地域の自治会活動や防災に女性の声をいかすとともに、多様性を認め合う社会の実現に向け、あらゆる意思決定の場への女性の参画を加速させること。
- \* 地球温暖化対策について、脱炭素社会の実現に向け、市民の意識改革や事業者の技術革新を推進すること。
- \* ICT教育環境整備事業での各学校のリーダー育成にあたっては、特定の教員に負担が偏らないよう配慮し、学校間でICT活用に差が出ないようにすること。
- \* コロナ禍により心理的な不安を抱える子どもの増加が予想されるため、引き続きスムーズに不登校及び別室登校の児童生徒に対応できる環境を整えること。

### 都市建設委員会

- \* 計画を前倒して実施する公園整備事業について、コロナ禍により、公園などのオープンスペースの必要性が高まっているため、積極的に整備を促進すること。
- \* バス路線の再編に係る公共交通線軸の運行再編事業では、静岡型MaaSとあわせ、市民が利用しやすい公共交通網の検討を進めること。
- \* 国道一号隣接地に自転車休憩施設などを整備するサイクルツーリズム拠点整備事業について、多くの方に利用してもらえらる魅力ある拠点とする。
- \* 桜橋の工事は渋滞解消のため一月でも早く完成させること。国道一号長沼交差点の改良は、広域ネットワークの視点を踏まえて関係機関へ働きかけること。

### 厚生委員会

- \* 新型コロナウイルスワクチン接種事業では、できるだけ多くの市民がワクチン接種を受けられるよう、医師会とも連携して臨機応変に対応すること。
- \* 清水区脳梗塞予防実証実験事業は国内で初めて実施する実証実験と聞いている。そこで得た成果を本市の医療体制の更なる向上につなげる。
- \* 児童相談所におけるICT機器活用促進事業では、導入するタブレット端末を積極的に活用し、業務効率化や職員の負担軽減を図ること。
- \* 市立こども医療的ケア児受入事業について、受入体制の拡充に加え、人材育成にも力を入れ、持続可能なインクルーシブ保育を実現すること。

### 企業消防委員会

- \* 感染症予防でオゾン発生装置をすべての救急車両に配備するなど救急活動時の二次感染リスクの軽減を図ることは大切であるため、今後も一層の対策を求める。
- \* 吉田町倉庫火災を受けて新設する災害機動支援部隊管理室の運営にあたっては、災害現場での事故防止とともに市民の安全・安心につなげる。
- \* 上下水道は生活そのものであり、市民の命を守り、暮らしを取り戻す二つのLife(Live)を支える基盤として、今後も維持管理に一層努めること。
- \* 水道の老朽化対策及び耐震化を着実に推進すること。
- \* 大雨による浸水被害が頻発している状況を受け、一刻も早く雨水ポンプ場を完成させること。

## 特別委員会

地域特有の課題について調査研究を行うため設置した四つの特別委員会が、4年間に及ぶ調査活動を報告しました。

### 人口減少対策特別委員会

- 2年度までの取組
  - 元年度までは、若者・子育て世代に焦点を当て、安心して子育てできる環境の整備や働く場の確保、それらの施策を効果的に人口増加に結び付けるマーケティングの強化についての提言や、調査研究を行った。2年度は移住・定住推進事業を重点に、市内施設の視察を行い、ポストコロナにおける本市への移住・定住の加速や関係人口等の増加に向け、新たに提言した。
- 要望等
  - 子ども園等の待機児童ゼロの継続など安全な保育等の受皿の提供、移住後のフォローアップなど移住相談事業の強化、テレワーク拠点の拡充、首都圏のPRなどコロナ禍における移住環境の整備を図ること。

### 総合交通政策特別委員会

- 2年度までの取組
  - 交通弱者への対応及び交通網の整備による地域活性化のため、地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方に関して、平成29年度から令和元年度は、各種事業の調査、市への提言、関係者との意見交換会を行った。2年度は、自転車利用のための整備と新都市交通関連に関する調査の上、①生活に根付いた静岡型MaaSの実現、②安全で快適な自転車利用ができる走行空間づくり、③自転車利用におけるルール・マナーの向上、の3点を市へ提言した。
- 要望等
  - 早期に対応できるものは速やかに実施し、長期的な取組を要するものは計画的な取組に努めること。

### 中山間地活性化調査特別委員会

- 2年度までの取組
  - 平成29・30年度は「定住・移住関連」と「生活関連」に重点を置き、本市の取組状況調査や現地視察など、令和元年度は「小さな拠点づくり」と「災害対策」に重点を置き、先進事例の調査・研究等に取り組んだ。2年度の会議では、委員会が長年整備を求めてきた中山間地域への光回線の敷設が実現することに期待する声や、高齢化や人口減少に伴う医療や交通等の課題の指摘、オクシズの魅力発信を求める意見があった。
- 要望等
  - 中山間地域の活性化のため、中山間地域での定住や移住のための施策、経済活動や観光振興等の調査研究が必要である。今後も各局が連携して取り組むこと。

### 清水都心まちづくり特別委員会

- 2年度までの取組
  - 清水都心及びその周辺地区にぎわい交流を創出するため、清水港の魅力を活用したまちづくりのあり方に関して、平成29年度から令和元年度は、調査研究、市への提言、関係機関への要望活動を行った。2年度は、「清水みなとまちづくりブランドデザイン」で示されたリーディングプロジェクトのうち二つの計画を対象に、より具体的なまちづくりの方向性や課題などを議論し、その成果を市長に提言した。
- 要望等
  - 地域住民や関係企業との協働により、清水都心の魅力を磨き上げ、同地区のまちづくりと海洋文化都市構想を一層推進すること。

## 6月定例会のお知らせ

6月定例会は、令和3年6月17日からはじまります。日程は次のとおりです。会期 23日間

開催日	会議名	場所
6月 4日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
9日(水)	議案説明会	議場
6月17日(木)	本会議	議場
23日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
25日(金)	本会議(総括質問)	議場
28日(月)	本会議(総括質問)	議場
29日(火)	本会議(総括質問)	議場
7月 1日(木)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
2日(金)	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
8日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
9日(金)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)  
 ※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。  
 ※本会議の傍聴受付は4階、委員会の傍聴受付は3階にあります。

## 市議会の傍聴を希望される皆さんへ

新型コロナウイルス感染の予防及び拡大防止の観点から、傍聴にお越しの皆さんの健康を守るため、傍聴の際には手洗い・消毒の励行やマスク着用をお願いいたします。傍聴受付に手指用の消毒液を設置しますので、ご利用ください。

また、発熱等風邪の症状のある方や体調のすぐれない方等におかれましては、傍聴をお控えくださいますようお願いいたします。

なお、議場にお越しにならなくても議会の様子をご覧いただけるよう、インターネットにより本会議の様子の中継及び録画配信を行っております。スマホ等からも手軽に視聴できますので、是非ご利用ください。

### 本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。

[https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_000269.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000269.html)



2月定例会提出議案の会派別賛否一覧

2月定例会で審議した市長提出議案116件、議員提出議案1件、請願1件の審議結果は、次のとおりです。(○=賛成、×=反対)

Table with columns for item name, party names (Self-Democratic, Liberal, etc.), and decision results. It is divided into sections for '2021 Supplemental Budget', '2022 Fiscal Year Budget', 'Regulation Revisions', 'Designation of Designated Managers', and 'Other Proposals'.

自民党(24人)、志政会(7人)、公明党(6人)、創生静岡(4人)、共産党(3人)、緑の党(1人) ※令和3年3月11日時点

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

次回、「しずおか市議会だより(令和3年4月臨時会号)」は令和3年6月1日発行予定です。

(編集元) 静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

議会総務課 ☎(054)221-1158

議事課 ☎(054)221-1159

調査法制課 ☎(054)221-1481

FAX.(054)251-9213

静岡市議会

検索

静岡市議会ホームページアドレス https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\_000260.html

